

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-10	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1：榎本秀樹，非接触ICカードとGISを用いた空間情報システム，
第23回土木情報システムシンポジウム講演集，1998. 10. 27

文献2：佐田達典，建設分野における空間情報利用の取組み，
JACIC情報 VOL. 14 NO. 2, 1999. 07, 30

文献3：JP 2000-039342 A (板倉 安正) 2000. 02. 08
段落【0018】—【0053】、図1—3 (ファミリーなし)

請求の範囲1-3, 10

文献1には、携帯電話によって送信可能なIDを有する非接触ICカードと、ICカードの情報を格納するGISのデータベースと、アンテナと、携帯用のパソコンと、情報管理センターとを有する地面に差し込める杭型形状の収容器を有する情報杭の空間情報システムが記載され、国際予備審査報告で新たに引用した文献3には、計測値を無線通信によって送信可能なセンサを格納した地面に差し込むだけで設置できる測定プローブが記載されており、文献3の構成を文献1の構成に組み合わせることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲4-9

文献3の記載に加えて、文献2には、「現地で非接触IC杭を検知して、その杭の基本情報を参照できる」(第59頁左欄第14-16行)、「GISのデータベースを検索して表示している」(第59頁左欄第20-22行)、「非接触IC杭に含まれるIDをキーとして移動体通信によりGISセンターのデータベースを検索して参照する」(第59頁左欄第23行—中欄第1行)、「RTK-GPSで計測した位置情報を非接触IC杭に書き込む、あるいは非接触IC杭から読み取った座標をもとに、RTK-GPSの絶対座標を局地座標に変換するなどの双方向のデータ交換がある」(第59頁中欄第20-25行)、および、「非接触IC杭の読取りセンサをトータルステーションに接続して、直接、杭の情報をトータルステーションに取込システム」(第59頁右欄第10-14行)が記載されており、また、表示部にアイコン、ボタンとともにウィンドウ表示する点が記載されており(第58頁、図-2および写真-2)、文献2の構成を文献3の構成に組み合わせることは、当業者にとって容易である。